

企業価値の向上へ

全国技術発表会を開催

三井住建道路

三井住建道路は25日、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で16年度全国技術発表会を開催した。約40人が参加したほか、各支店にもテレビ会議配信された。

冒頭、松井隆幸社長は「この技術発表会は、新技術の紹介と社員の技術力向上・水平展開を目的としている。安

全・安心とともに高品質で安価なものづくりで、企業価値の向上を目指す。今後も積極的なチャレンジを推進する」と挨拶した。

発表内容は次の通り

（敬称略）

▽レジンコンクリート製品による電線共同溝整備事業Ⅱ中四国支店工事部、河野康弘▽橋面舗装



の補修事例（福岡都市高速5号線月隈JCT）Ⅱ九州支店工事部、鳥越彰徳▽商業施設解体工事に伴う調節池の施工Ⅱ中部支店工事部、石川純哉▽寒冷地での作業性改善を

目的とした全天候型常温合材RCRの開発Ⅱ技術研究所、深町淳▽修繕工事のT/S出来形管理Ⅱ東北支店工事部、嶋崎祐介▽リゾートホテル改修に伴う「中庭修景施設工事」の施工事例Ⅱ北海道支店工事部、井上真Ⅱ橋台基礎解体におけるプラスチックマカセル工法施工事例Ⅱ関西支店工事部、小山直▽市街地交差点における遮熱性舗装の施工についてⅡ関東支店工事部、上田雄哉

最新施工事例8件

三井住建道路が
全国技術発表会

三井住建道路は11月25日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で16年度「全国技術発表会」を開いた。最新の施工事例を発表し、情報の共有と技術力の向上を図ることを目的に毎年実施している。松井隆幸社長をはじめ役員約30人が出席。インターネット中



継を利用して全国の支店関係者も参加した。

冒頭、松井社長は「限られた時間内に発表することは、個人にとつては重要な経験であり、会社全体のレベルアップにもつながる。

発注者への技術提案、VE提案にも大いに役立つ。今後積極的なチャレンジを推進していきたい」とあいさつしたⅡ写真。

発表会では、レジンコンクリート製品による電線共同溝整備や橋面舗装の補修など8件の技術発表が行われたほか、塩田俊朗シーエムシー代表取締役が「人生とは未来―自己紹介は未来を語る―」と題して特別講演を行った。

2016年12月1日付 建設工業新聞

2016年11月30日付 建設産業新聞

技術発表会

発注者と信頼強化

三井住建道路

三井住建道路は11月25日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で、2016年度全国技術発表会を開いた。始めにあいさつした松井隆幸社長は、情報化施工への取り組みの強化や社員のプレゼンテーション能力の向上など技術発表会の意義を示しながら、「当社は安全、安心、高品質で安価なものづくりを実践し、発注者との信頼関係をさらに強化し、企業価値向上を目指している。今後も積極的なチャレンジを推進する」と呼び掛けたⅡ写真。



全国各支店から「レジンコンクリート製品による電線共同溝整備事業」（中四国支店）、「橋面舗装の補修事例（福岡都市高速5号線月隈JCT）」（九州支店）、「商業施設解体工事に伴う調節池の施工」（中部支店）など8編の技術発表があり、質疑応答が行われた。

2016年12月2日付 建設通信新聞